



たんぽぽ園

～児童発達支援～

支援プログラム

支援方針

法人(事業所)理念

お子さまとご家族が、生き生きと自分らしく生活していくためのライフステージに応じたサービスを提供していきます。一人ひとりの個性を大切に、認め合い共生社会を具現化していくまちづくりを推進する一助となるよう取り組みます。

1. 基本的な生活習慣の自立に向けて頑張ろう。
 2. 明るく素直なよい子になろう。
 3. しょうぶな体をつくろう。
- 上記の療育目標のもと、お子さまやご家族が安心して生活が送れるよう、個々に寄り添い、楽しく・自己肯定感をあげられる支援を目指していきます。

営業日・営業時間

営業日：月曜日～金曜日

(土日・祝日・年末年始休業)

営業時間：9：00～14：50

問い合わせ等事業所は17：45まで

開いています。

送迎実施の有無

保護者の方の送迎をお願いしています。

療育の利用形態 (AM9:10～10:50)

就園されていない方・年齢が小さいお子さまが親子で通園し、お子さまに合わせたグループで小集団療育を行います。いろいろな遊び(粗大運動や感覚遊び・触覚遊び等)を楽しみながら、他者との時間の共有・ことばの発達を促す体の土台づくり・親子関係の構築を目指します。利用は、週1回～2回(グループによって異なります。)。通園する曜日が固定になります。

ST・OT・心理士による専門指導

必要に応じて、言語聴覚士・作業療法士・公認心理士による専門指導で、各専門分野での発達段階や支援方法のアドバイスを受けられます。



療育の利用形態 (PM13:10～14:50)

幼稚園や保育所等の集団に通われている方が、学年や個々に合わせたグループで母子分離、小集団療育を行います。集団指示で行動する・友だちとの関わりや集団生活の中で必要な社会性(ルールや順番を守る等)を身につけることが出来るよう支援します。運動、感覚遊び・ルール遊び、文字や数等の概念あそびなどを楽しみながら行います。療育時間内で、個別指導(20分程度)も行います。(R7年度からは変更になります。利用は、週1回の曜日固定になります。)

主な行事等

AM親子療育：運動会・クリスマス会・園外療育・避難訓練
PM分離療育：親子参観(年2回)・避難訓練

～支援内容～

健康・生活

登園支度や着脱・排泄など生活自立に向け、個々のペースに合わせ、療育内で一緒に行動しながら出来る事を増やしていきます。また、生活・睡眠リズムの形成は、情緒の安定にも繋がります。療育でたくさん遊んで刺激を感じ、食事・睡眠をしっかり取り、情緒の安定と生活がしやすくなるよう支援します。

運動・感覚

全身の運動機能・バランス感覚・力の強弱や距離感・触覚などさまざまな感覚に触れ、ダイナミックな遊びを経験し、感覚の成長や感覚欲求を満たしていきます。また、言語表出に向けた身体の基本づくりや、書字や生活動作に向けた微細運動などの活動も設定しながら身体づくりを支援します。

人間関係・社会性

遊びの中で、友だちとの玩具の貸し借りや関わりを大人がモデルを示したり、介入しながら経験を積んでいきます。また集団生活の中で、順番を待つことや集団でのルールの中で気持ち良く過ごせるように、事前に約束ごとの確認をしたり、視覚化でわかりやすく伝えていきます。また、相手の気持ちに気付く・周りの状況を知り、合わせるという事も支援していきます。

認知・行動

特性に合わせた環境設定を行い、指示は視覚化・具現化・端的に伝え、行動に移しやすくします。集団生活での約束やルール・学習面での数や文字等の概念理解・言語理解などが深められるように活動に取り入れながら楽しく達成感が得られるように支援します。

言語・コミュニケーション

言語表出・言語理解に向けて、毎回手遊びを取り入れ、見る力・模倣する力・理解の向上を目指します。コミュニケーションでは、玩具等の貸し借り「貸して」「いいよ」など相手に伝える、相手に答える経験を好きな遊びから取り入れます。また気持ちをことばで伝えることもモデルを示しながら支援します。

家族支援

ST・OT・心理・就学についての講話会を実施し、保護者の不安軽減を目指します。また、保護者のリフレッシュを兼ねた分離療育の実施やお話会等のサロン会を開催しています。

移行支援・地域支援 地域連携

就学に向けて、学校教育課の講話会実施や情報の共有を図りながら安心して就学を迎えられるようサポートします。また、必要に応じて幼稚園等の訪問や情報共有等の連携を図ります。

職員の質の向上

年に5回の園内研修・その他の外部研修に参加し、特性理解や支援方法の向上を図っています。また、支援会議等を行いながら個々の対応・支援方法の共有をし、支援の統一を行っています。

